



## 大正大学での官庁講座を支援



自衛隊東京地方協力本部豊島出張所（所長 井上3陸佐）は12月6日、昨年に引き続き大正大学が実施している講義の一つである官公庁講座を支援し、同大学の2年生約80名を支援し、同大学の2年生約名に對し災害派遣に関する概要説明及びワークシート作業に基づいた集団討議を企画運営した。

当日は、動画を使用した自衛隊の概要説明の後、災害派遣に関する概要説明及びワークシートに記述しながらの討議を行った。特に派遣される自衛官という状況で課題を付与された学生は、各グループを補助する隊員へ質問しながら熱心に課題作業に取り組み、部隊運用や対策処置について活発に意見を交わしていた。

参加した学生からは「自分が自衛官になったつもりで、災害時の行動を考へることができた」や「本格的な内容であり、我々からの視点と自衛隊さんとの視点の比較ができた」と言った感想や、中には「部下の命を預かっている以上、上司の判断は重いことを学んだ」との感想もあり、学生の意識の高さに驚かされた。

また、約3割の学生から「本討議が、具体的な災害派遣計画を作成している実感できて楽しかった」との声もあり、隊員と気さくに話をする様子から、多くの学生が親近感を感じたようだった。

豊島出張所は、今後も大学生や専門学校生を主体に、災害派遣に関する集団討議を企画し、対象者に対する更なる自衛隊の理解促進に全力を尽くしていくとしている。

## 東京地本創立67周年記念行事を開催



自衛隊東京地方協力本部（本部長 山下陸将補）は11月23日、グラウンドヒル市ヶ谷において、佐藤正久参議院議員、内閣総理大臣補佐官 石原宏高衆議院議員、松原仁衆議院議員をはじめ、4年ぶりにコロナ禍以前の規模となる協力団体会員等184名の招待者をお迎えし、自衛隊東京地方協力本部創立67周年記念行事を開催した。

本記念行事のテーマは、人口減少社会が進行する構造的な問題を克服し、安保3文書に示された新たな体制に必要な人的基盤の更なる充実を図ることが時代の責任を果たすこととの認識から、安保3文書策定後の幕明けたる本年度の特性を踏まえ、昨年度の「REBORN（原点復帰）」の成果を土台として「One Team（絆）」に定めた。

当日は、募集・援護・予備自業務等、東京地本の業務推進に貢献された皆様への感謝状贈呈式（個人33名及び18団体）を実施した後、記念式典を肅々と挙行するとともに、プロモーションビデオ上映、職員の趣向を凝らした隊歌斉唱、招待者と職員合わせて約250名による「栄光の架橋」の大合唱等を取り込んだ祝賀会食を実施し、盛況のうちに67周年記念行事を終えた。

東京地本は、今後もあらゆる機会を捉え協力団体等との絆を大切に、任務に邁進していくとしている。